



<参考>様式第4号

令和8年1月23日

豊明市議会議長 殿

## 研修会・講演会等参加報告書

議員名 一色 美智子

令和7年度 豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び成果等
令和8年1月20日	豊明市役所 4階 第1委員会室	別紙添付

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

## 豊明市議会議員ハラスメント防止研修 終了報告書

令和8年1月23日 一色美智子

- 1 研修名 豊明市議会議員ハラスメント防止研修
- 2 実施日時 令和8年1月20日(火) 10時00分～ 第一会議室
- 3 参加者 豊明市議会議員20名
- 4 講師 行政書士・企業アドバイザー 安江正司様
- 5 研修内容

本研修では、議会におけるハラスメントの現状と課題を共有し、議員として求められる姿勢やコミュニケーションの在り方について学んだ。特に、無意識の偏見が議論の質や人間関係に影響を及ぼす可能性、また「意図の有無」ではなく「受け手の感じ方」が重要であることが強調された。

議会内外のあらゆる場面での言動が市民の信頼に直結することから、日常の小さな言葉や態度の積み重ねがハラスメントの防止につながるという視点が示され、議員としての基本姿勢を見つめ直す内容であった。

### 6 受講を通じての気づき

今回の研修を通じ、議会という場が多様な価値観や背景を持つ人々の集合体であることを改めて実感した。性別・年齢・経験年数によって、同じ言葉でも受け止め方が大きく異なることは、議員同士のコミュニケーションにおいて非常に重要な視点である。

また、ハラスメントは特別な場面で突然起きるものではなく、日常の何気ない言動の積み重ねによって生じることを学んだ。控室での雑談、委員会前後のやり取り、視察先での会話など、形式ばらない場面こそ注意が必要であると感じた。

さらに、女性議員として、性別に起因するハラスメントの構造的な問題にも触れ、議会全体の環境改善に積極的に関わる必要性を強く感じた。議会の信頼性は、議員同士

の関係性の健全さにも支えられており、互いを尊重し合うことが市民の信頼につながることを再確認した。

## 7 今後の取組み

今後は、議会内のコミュニケーションにおいて、相手の背景や状況を丁寧に想像しながら発言する姿勢を徹底する。また、無意識の偏見に気づくための自己点検を定期的に行い、必要に応じて外部研修にも参加することで、継続的な学びを深めていく。

議会内での相談体制やハラスメント防止のルールづくりにも積極的に関わり、他自治体の先進事例を参考にしながら、豊明市議会としての体制強化を提案していく。

市民からの相談対応においても、安心して声を届けてもらえるよう、丁寧な傾聴と配慮ある言葉選びを心がける。

また、研修内容を議会全体での意識向上につなげるとともに、議員同士のコミュニケーション改善に向けて日常的な声かけや情報共有を行い、風通しの良い議会運営に寄与していく。

## 8 まとめ

本研修は、議員としての姿勢を改めて見つめ直す大変貴重な機会となった。議会は市民の代表が集う場であり、その環境が健全であることは、市民の信頼を守るうえで欠かせない。

言葉の重み、相手への配慮、無意識の偏見への気づき、議会文化の改善に向けた責任など、多くの学びを得ることができた。今後は、今回の学びを日々の議会活動に丁寧に落とし込み、誰もが安心して意見を述べられる議会づくり、市民が安心して声を届けられる環境づくりに、引き続き真摯に取り組んでいく。

議会がより開かれ、互いを尊重し合える場となるよう、学びを実践に結びつけてまいります。